



新入生を迎えて

岩手県立農業大学校 校長
千葉 泰弘

岩手県立農業大学校は、2年生 62 名に加え、本科生 70 名と研究科生 2 名の新入生を迎えて平成 24 年度のスタートを切りました。

本校は地域農業の担い手を養成するために設置されている学校であり、広いフィールドを使い理論と技術が一体化した農業技術を学ぶ「実践教育」、農業技術の高度化や経営の専門化に対応した力を習得する「先進教育」、さらには、寮生活を通して協力・協同する行動力を身につける「全寮制教育」の3つの柱を教育の基本に据えています。これまで、2,600 名以上の卒業生を送り出している伝統校であり、卒業生の皆さんは県内各地の地域農業のリーダーとして活躍しています。岩手の農業は本校卒業生を抜きにしては語れません。

農業は幅広い知識と技術を必要とします。作物や家畜に関する基礎知識や専門知識に加えて、作物の栽培技術や家畜の飼養管理技術を体得する必要があります。自然科学分野だけでなく、経営学等の社会科学分野の知識や ICT（情報通信技術）の習得も欠くことができません。つまり、本校で学ぶ内容は、豊富で、多様だということです。本校の2年間で確かな知識に裏付けされた農業の実践力を身につけ、各自の目標に向かってスタートすることを望んでいます。学校は、そのための支援を惜しみません。

農業は食の供給を通じて人の命を支える大事な産業ですが、担い手不足の深刻化や販売価格の低迷等による収益力の低下など、厳しい課題に直面しております。本校で培った力で、農業・農村の難局を打開する人材が輩出することを願っております。

今後も本校は、本県農業・農村における担い手育成の中核機関として、その使命の発揮に努めて参りますので、引き続き、父母の会の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。



会長就任にあたって

父母の会 会長
小松 清志

先般行われた 24 年度父母の会総会において、小田島前会長より会長を引き継ぎました。何かと不慣れなところもありますが、本校の発展と学生がよりよい学生生活を送れるよう頑張っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

「岩手県立農業大学校父母の会」は、本大学校と家庭との連絡を緊密にするとともに、学生の福祉増進に協力することを目的に設置されております。年 3 回の理事会をはじめ、保護者懇談会、入学式や卒業式、全国農業大学校交換大会やプロジェクト発表会（旅費の援助）、海外研修や農大祭など、学生の学習に対する支援等を主な事業としております。

本大学校には県内はもとより、県外からも多数

入学生がおります。父母の皆様におかれましては遠いところ本会の行事への参加は大変かと思いますが、ご理解とご協力のうえご出席くださいますようよろしくお願いいたします。

私も本校（農業短期大学校）の第 5 回卒業生であり、当時は車の持ち込みやアルバイトが禁止された厳しい時代でありました。今、子供二人を入学させ、4 年間役員会等で足を運ぶたび、あの時の学生生活、寮生活がとても懐かしく思い出されます。また、昨年の 3 月 11 日、本校卒業式で娘が卒業し、その後の「卒業を祝う会」の開始 1 時間後に巨大地震。忘れることはないでしょう。

学生の皆さんは、2 年間という短い期間ですが、失敗を恐れず前向きに進んでください。勉強はもちろん、これから社会に出るための確かな基礎を築き、この厳しい時代を乗り切ってほしいと思います。「努力はいつか花を咲かせます」

最後に、学生及び本大学校の関係者の皆様にとってすばらしい一年となるようご祈念申し上げます。就任のご挨拶といたします。

平成24年度入学式が4月10日に本校体育館において挙行され、本科生70名、研究科生2名が入学し、将来の地域農業の担い手としての決意を新たにしました。

千葉泰弘校長から入学許可の後、「農業経営者として必要な知識や実践力を身につけ、地域のリーダーとして成長することを期待する」と式辞があり、その後、東大野農林水産部長による知事告示に続き、来賓を代表し後援会長の高橋由一金ヶ崎町長、及川誠同窓会副会長から祝辞を賜りました。

在校生を代表して学生自治会長の佐々木秀彰君（野菜経営科2年）が、「不安もあるだろうが、分からないことがあれば2年生に相談して、充実した学生生活を送ろう」と歓迎の言葉を述べ、これに対して、新生代表の肉畜経営科の大里達矢君が「農業を取り巻く多くの問題を克服し、地域農業の振興に貢献できる力を身につけたい」と決意を述べました。

新生72名がそれぞれの夢実現に向けて決意と希望を胸に大学学校生活をスタートさせております。



千葉校長の式辞



在校生代表の歓迎の言葉



新生代表の誓いの言葉

平成24年度 本科・研究科

〈本科〉

学 科	経営科	1 学 年				2 学 年				本科計		
		定員	男	女	計	定員	男	女	計	男	女	計
農産園芸	農産	50	15	1	16	50	13	0	13	28	1	29
	野菜		15	2	17		11	2	13	26	4	30
	果樹		4	2	6		4	3	7	8	5	13
	花き		8	5	13		6	2	8	14	7	21
	計		42	10	52		34	7	41	76	17	93
畜産	酪農	20	6	4	10	20	6	3	9	12	7	19
	肉畜		8	0	8		11	1	12	19	1	20
	計		14	4	18		17	4	21	31	8	39
合 計		70	56	14	70	70	51	11	62	107	25	132

〈研究科〉

分 野	定員	男	女	計
農産園芸	20	0	2	2
畜 産		0	0	0
合 計	20	0	2	2

新入生メッセージ



農産経営科1年

農産経営科1年 小原 萌

私は県内の普通高校出身で、農業の知識は全くないまま入学しました。授業は農業高校出身でない人にも理解ができるように農業の基礎を丁寧に教えてくれます。また、自然がいっぱいの環境で学べるのは最大の魅力だと思います。

全寮制なので、周りの人と勉強以外の場面でも関わることが多くなります。私は今、食堂へ一緒に行ったりお風呂に誘いあう友人ができて充実した生活を送っています。

入学を希望している皆さんへ、実習が多い授業で、座学だけでは学べない専門的なことができます。就農したい・農業関係に就職したい人にはおすすめの学校です。友人と三食をともにする良さ思い出せますよ。

農産経営科1年 佐々木竜太郎

私は農業大学校に入学するまで、農業を学問として基礎から学んだことがありませんでした。実家で稲作の手伝いをしたこともありましたが、ほとんど一からのスタートでしたので入学当初はこの学校での生活に不安を感じていました。入学してから一か月半が過ぎましたが、今では学友もでき、寮での生活リズムにも慣れて、毎日充実した勉強ができています。一年次は座学と実習がほぼ同じ割合なので、授業で学んだことを忘れないうちに実際に圃場に行き体験することができる理想的な環境です。また、選択制の授業もいくつかあるので努力した分だけ多くの成果を得ることができます。そのためこの学校は、将来的なビジョンに向けて日々成長できる、とても良い学校だと実感しています。

野菜経営科1年 今松 智成

農業大学校に入学するまでは、人間関係がどうなるか心配でした。しかし、入学してみると、先輩方は心優しい人ばかりで初日で私の心配は払しょくされました。

私のクラスでは17名という多さですが、ケンカもなく、大きな問題点はないと思います。何事もなければとても良いクラスになると思います。

これからは「積極的に行動する。」を抱負として生活していきたいです。実習や講義には常に全力で頑張っていきたいと思っています。



野菜経営科1年

野菜経営科1年 中居 永樹

私は農業高校出身ですが、農大の授業は専門性が高く、今のままでは農業に関する知識がまだまだ足りないのだと実感しました。実習では、ただ作業をするのではなく、自分で先のことを考えて作業を進めていくことが求められます。また、植物は生きており、天気も毎日違うので実習は大変ですが、絶対に将来の糧になると確信しています。

農大での新たな生活は、勉強・実習・寮生活の全てが楽しく、充実しています。私はここに入学して、本当に良かったと感じています。そして、私の目標である「専業農家として生計を立てる」ことを目標に、これから2年間の学校生活を頑張っていきたいと思います。



果樹経営科1年

果樹経営科1年 中山 陽平

私が農業大学校に入学し、慣れない学校や寮での生活に不安がありました。しかし、今では新しい友達もでき、とても充実した生活を送っています。先輩も優しい方々ばかりで、とても親切にいただいているので、この学校に入学して良かったと思います。

今後の学校生活でも、より多くの友達を作りたいです。そして、授業面でも多くの知識を学び、2年後に卒業して職に就いたときに、ここで学んだことを活用してできるよう努力したいです。

果樹経営科1年 鈴木 美紀

私は高校時代に寮生活を経験していましたが、農大の寮でもしっかりやっつけていけるか正直不安でした。ですが、先輩方はとても優しく、友達もすぐできました。入学してから1ヶ月が経ちましたが、みんなのおかげで楽しい毎日を送っています。

座学では、他学科との講義が多く、最初は慣れないところもありました。しかし、高校で学べなかったことや専門的な知識を学ぶことができ、難しいところもありますが頑張っています。

農大は先輩をはじめ、先生方も優しく接してくれ、さらに実習も多いために実践的なことも学べることから、農業を学ぶ場として、とても適していると感じます。

これからの目標として、取得可能な資格は積極的に取得し、赤点をとらないようしっかりと勉強にも取り組みたいです。

花き経営科1年 菅 健人

農業大学校に入学して一か月以上経ちました。始めは、友人ができるかどうか心配でしたが、個性豊かな人々が多くて時間を掛けることなく交友関係を深めることができました。第一の壁は過ぎ去ったものの、最大の難関は勉強です。今の所は、どのように進めるか考慮していますが、早期に取り組んでいけるように行っていきたいと思います。特に、資格取得に対する勉強には、力を入れて必ず取得できるように頑張っていきたいと思っています。

進路については、二年後、研修を通じて就農するための技術・知識・経験を積み、農業経営を行っていきたくと思っています。そして、今は専攻実習を糧に将来に向けての道筋をつけていきたいです。

まだ、農大での学生生活は始まったばかりですが、より良い人間関係を築き上げていきつつ、思い出として記憶に刻みつけていきたいと思っています。



花き経営科1年

花き経営科1年 高橋 修幸

私が農業大学校へ入学した動機は、今自分の家で父が行っている農業を継ぐためと、農業を通して震災復興の力になりたいと思ったからです。

私の家は農家なので農業に関する知識はわずかにありましたが、いざ大学の授業を受けてみると、とても難しく大変です。また、親元を離れての寮生活も、最初はとても不安でした。しかし、今はそんな不安もなく、たくさんの友達と楽しく生活しています。農大の友人はとても面白い人達ばかりだし、先輩方もとても優しい人達です。

2年という短い期間の中でやる事がたくさんあり忙しいですが、短い期間でも学ぶことや身に付くことは多いと思うので、これからも将来のために頑張っていきたいと思っています。学校の農場も大きく不自由なく実習に取り組めるので、農業に少しでも興味があるなら、みなさんもぜひ入学して、一緒に勉強していきましょう。



酪農経営科1年

酪農経営科1年 工藤真央

私は、大学で酪農について学びたいと思っています。その理由は、牧場に就職して搾乳や哺乳など、牛の世話をしたいからです。牧場に就職するためには、牛についての知識や一般管理などを行うための技術が必要です。このような知識や技術を身に付けるため、授業や実習を通して早く酪農という仕事を覚えたいと思います。

大学校生活は始まったばかりですが、授業の科目は多岐にわたり、内容も難しいです。しかし、夢を叶えるため、朝夕の当番にもしっかり取り組むなど、沢山のことを学ぶ努力をしていこうと思っています。

酪農経営科1年 早瀬和馬

私は農大でいろいろな良い経験をしている。まず、全寮制という点だ。ここは親元を離れて他の人と協力し合い生活する。この寮で友達の重要さを感じているし、洗濯や起床の時などは親のありがたみを再確認した。

次に自分の出身地との環境の違いだ。私は岩手のような冷涼な気候は酪農に適していると思い、三重県からこの学校に入学したが、寒暖の差や空気の乾燥度合いなどが違うのでまだ慣れない。また、方言が違うので、伝えたいことが伝わらない時があり、同じ日本語なのかと心配になる時がある。

これからもいろいろな経験をして今後の糧にできるよう、一日一日を大切に些細なことでも吸収していきたいと思う。

肉畜経営科1年 川崎拓也

今年入学して、全然何も分からない状態からスタートしてそれから1カ月がたちました。肉畜経営科は、たった8名ですが、団結を深めてこれからの農業大学校生活を乗り越えていきたいです。自分が一番がんばりたい事が、これから家を継がなければならない自分が、この農業大学校で成長することです。これまでは、寮生活をしたことがなかったので、すべて自分でやらなければならない状態は、自分の一番苦手なことです。家で、なんほかはしていましたが、1から10まで、何から何まで自分でやって、その上、早起きして当番をしてみて、早寝しないと次の日きつい という事が身に沁みて分かりました。今では、たくさん友達ができ、生活にも慣れてきました。これからの2年間を楽しんでいきたいと思っています。自分 ファイト!!



肉畜経営科1年

肉畜経営科1年 及川謙一郎

農大に入学してから約1カ月が経ちました。寮生活も慣れて、今は毎日の生活に余裕が出てきたように感じます。勉強の面では、主に座学中心で覚えることが多くあり、今まで以上に授業に集中しなければいけないと感じました。また、実習や毎朝の当番は、まだ数回しか行っていませんので、これから先生や先輩方の指導を受けて、仕事に早く慣れていきたいと思っています。また、卒業研究や就職に向けて早めに準備していきたいです。



自治会長として

学生自治会 会長
佐々木 秀彰

今年度、学生自治会の会長となり、四苦八苦しながらも役員との協力を得つつ活動しています。今まで、自治会長の様な全校の先頭に立つ役職とは無縁だった私にとって、会長という立場は未知の経験であり、ワクワクするような期待感とプレッシャーの両方を感じています。これまで卒業式や入学式等で代表挨拶などをしてきました。人前に立つことにまだ慣れてはいませんが、この役職についたことで自分自身が少しでも成長できればと思っています。

今年最初の自治会行事として「新入生歓迎会」を行いました。今後も例年同様に「花見」、「スポーツ大会」や「農大祭」などの行事を計画していますが、学生全員と協力して成功させていきたいと考えています。

また、今年、これまで南東北3県で行われていた親善球技大会に初めて参加することになりました。試合で頑張ることはもちろんですが、他県の仲間と交流を深めることができるいい機会であり、とても楽しみです。

一つ一つの行事が、学生全員にとって学校生活の最高の思い出になるように努めたいと思います。そのためにも、一日でも早くこの役職に慣れて、自治会役員や学生をまとめ、リードできるように頑張っていきたいと思っています。

最後に、この農大に集まったみんなと、学校生活やいろいろな行事を通じ様々な思い出を作っていきたいと思っています。農大生みんなが入学してよかったと言えるような学校にしたいと思っています。

◇当面の行事予定◇

6/6	学生自治会スポーツ大会	9/18~20	前期期末試験(本科2年・研究科)
7/19	農林水産部長講話	9/18~10/2	農家派遣実習(野菜・果樹・花き)
7/27	全校ガイダンス・保護者懇談会	9/21~10/5	農家派遣実習(農産・酪農・肉畜)
7/28~8/22	夏期休業	10/16	校内意見発表会
7/30~8/1	緑の学園	10/18	本科推薦入学試験
9/3~6	前期期末試験(本科1年)	10/23	全校ガイダンス・海外研修報告会
9/3~10	海外農業研修(本科2年)	10/27~28	農大祭